

緊急テーマ

# 熊本地震を省察する

～愚痴と批判ではなく、省察と未来創造へ～



日時：2016年5月14日（土）

午前の部：9時～正午 午後の部：1時～3時30分

場所：熊本大学教育学部1階1B教室（附属小ではありません）

熊本を最大級の地震が襲いました。あの日、あの時、それぞれが生命の危機を感じつつも、精一杯の行動をとったはずです。しかし、心的な外傷として残ることは大きくても、あの日の行動や感じたことは時ともに薄れていくのではないのでしょうか。そこで、今回の熊大情報研では、緊急テーマとして、災害時の学校と地域のあり方を考えることにしました。あの日の出来事を省察することによって、整理し、未来に向けて改善案を考えていくことが目的です。誰でも参加できます。一緒に考えていきましょう。

主催：熊本大学教育学部情報教育研究会  
D-project（デジタル表現研究会）

参加費：100円（茶菓子代）

※午前のみ・午後のみでの参加も可能です。  
※パソコンやタブレット端末をおもちの方はご持参ください。

参加申込み：事前にメールで山口修一まで  
[yamashu2jp@yahoo.co.jp](mailto:yamashu2jp@yahoo.co.jp)

## 午前の部 9時～正午

1) パネルディスカッション～あの時、何をしたのか？ これからどうすべきなのか？～

パネリスト： 野間口壽子（向山校区町づくり委員会事務局長） 岩田智子（熊本県議会議員）  
平野修（熊本市立清水小学校 校長） 松川由美（モバイルネットワーク研究所代表）  
澤栄美（熊本市立白川小学校 養護教諭）

コーディネイター： 前田康裕（熊本市立向山小学校 教頭）

## 午後の部 1時～3時30分

2) 講話「生きぬく科」の防災教育 講師 五十嵐俊子（東京都日野市立平山小学校校長）

文部科学省開発指定校での「生き抜く力」を身につける防災教育についてのお話を聞きます。

3) 防災と教育ワークショップ

自らの体験や情報を出し合い、改善のための実践知を共有していきます。